

2025年1月

第172号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888



年頭に当たって

新年明けましておめでとうございます。今年は乙巳(きのとみ)年。蛇は一般的にネガティブなイメージがありますが、古来より豊穰や金運を司る神様として祀られることもあり、脱皮を繰り返し成長することから、医療・治療・再生のシンボルともされています。

さて、去年はどんな1年だったでしょうか、振り返ってみたいと思います。

昨年を象徴する漢字として「金」という一字が選ばれましたが、オリンピックで過去最高の金メダルを獲得したということと、政治の世界がまたまた「政治とカネ」問題で大きく揺れ動いたことが背景にあるようです。

国内でも国外でもなんとなく激しい変化や混乱・戦争・政変など予想外の災害や事件が多発した1年であったような気がします。

国内では新年早々、能登半島で震度7を記録する大地震が発生し、家屋の倒壊、津波や火災などのため約500人もの犠牲者を出す大惨事となりました。道路の寸断などで、復旧・復興の遅れが著しく地域の人々の生活を脅かしています。大地震の翌日には、支援物資を運ぶ海上保安庁の航空機と日本航空機が衝突し炎上する事故が発生、正月早々、連続する事故と災害で国民に大きな不安と衝撃を与えました。

世界的にはロシアとウクライナ戦争でロシア軍に北朝鮮兵士が加わり先行きの不透明さが拡大し、イスラエルとハマスの戦争も停戦の目処が立たず、ロシアが後ろ盾となっていたシリアのアサド政権が反政府軍の攻撃で崩壊しアサド大統領がロシアへ亡命、今後シリアの新政権が安定した政治システムを構築できるか課題となっています。

米国ではトランプ前大統領が次の大統領に当選し、共和党が上院・下院ともに過半数を占めている状況の下、これまで以上にトランプ色の強い自国ファーストの政治が行われる可能性があります。

我が国でも岸田首相から石破首相に交代。交代直後に解散総選挙が行われ自民党が大幅に議席を減少させ少数与党となり、今後厳しい議会運営が予想されます。韓国では尹大統領の弾劾訴追案が可決し混迷の度合いを高めています。中国では、日本人学校へ通う小学生児童が殺害されるという悲しい事件が発生しました。中国経済が停滞しているとの報道もあり習近平政権の今後の出方が注目されます。

明るいニュースとしては、米大リーグの大谷選手がメジャー初の「50本塁打・50盗塁」の快挙を成し遂げ、パリオリンピックでは45個の金メダルを獲得。「日本原水爆被害者団体協議会」にノーベル平和賞が贈られました。

新しい年は「脱皮」で現状を打破し、平和と成長の年としたいものです。



自分の「なぜ」を知れば道が見える

多くの方法論の本を読んでも、有名な経営者や金持ちのやり方を学んできても、自分のやり方や方法がわからない。これは当然のことで、薬ひとつにしても、その人の体質に合わない場合がある。他人のやり方が自分に合わないのは不思議なことではない。

問題はまず、自分の「なぜ」がちっともわかっていないということにある。自分がなぜそれをやりたいのか、なぜそれを望むのか、なぜそうなりたいのか、なぜその道を行きたいのか、ということについて深く考えていないし、しっかりつかんでいないからだ。

その自分の「なぜ」さえはっきりつかめていればあとはもう簡単だ。

どのようにやるのかなんてすぐにわかってくる。わざわざ他人の真似をして時間を潰すこともない。もう自分の目で自分の道がはっきりと見えているのだから、あとは歩いていけばいいだけになる。

【偶像の黄昏】

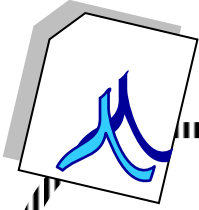
切れ者でありながら鈍くさくあれ

シャープでスマートだけではいけない。鈍くさいところも必要だ。

切れるだけがカッコいいのではない。切れるだけだと、いつまでも「まだまだ若い」と言われて、どこか軽く見られてしまう。錆も必要だ。

シャープでありながら鈍くさいところもあることによって愛嬌があるように見られて人に好かれるようになるし、誰かが手伝ってくれたり味方になる余地も出てくる。そして、切れるだけのときよりも、ずっと得をすることになる。

【たわむれ、たばかり、意趣ばらし】



フランツ・シューベルト (オーストリアの作曲家)

- 1797年1月31日 ウィーン郊外のリヒテンタールで生まれた。父のフランツ・テオドールは教区の教師をしていた。
父はアマチュア音楽家で子供たちに音楽を教えた。
- 1804年 フランツが7歳ころ父の手に余るほどの音楽の才能を発揮し始め、教会の聖歌隊指揮者を通して聖歌隊に預けられた。
- 1808年10月 17歳までウィーン学友協会音楽員の前身校で教育を受けたがほとんど得るものは少なかった。
- 1810年～1815年 四手ピアノのための「幻想曲ト長調」、弦楽五重奏のための「序曲ハ短調」など室内楽曲作成。母の葬儀用と言われる「キリエ」・「サルヴェ・レジーナ」や「父の聖名の祝日のために」を残した。学生生活最後には交響曲「交響曲第1番ニ長調」などが生まれた。
- 1822年～1825年 シューベルトは一時教師をしていた時期もあったが、退職し、貧しかった。友達の援助で五線譜を手に入れるなど恵まれない生活をし、出版社でも思うように取り上げてもらえなかった。この間、「ハンガリー風ディヴェルティメント短調」「ミサ曲第5番変イ長調」「美しき水車小屋の娘」など素晴らしい作品が生まれた。
- 1826年～1828年 度々体調不良に襲われる。
「ミサ曲第6番変ホ長調」「弦楽五重奏曲ハ長調」「白鳥の歌」など多数作成。11月19日高熱を出し死去。享年31歳。
- 19世紀(没後) 1838年シューマンがシューベルトの自宅にある未発表の作品を発見、世間で再評価されるように。

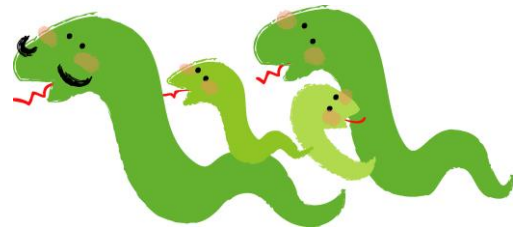
おすすめの BOOK



「すばらしい人体」(あなたの体をめぐる知的冒険)

作者 山本 健人 出版社 ダイヤモンド社

著者は、2010年京都大学医学部卒業。医師。医学博士。
本書は、「人体はよくできている」「人はなぜ病気になるか?」「大発見の医学史」「あなたの知らない健康常識」「教養としての現代医学」などの分野で執筆されており、まったく医学に無関係の者でも「ははあ」と納得できる内容。面白いし、自分の健康のためにもお薦めの一冊。



職場の教養

暦の定着

(成果が出るまで継続しましょう)

現在、私たちが使用する暦は「グレゴリオ暦」と呼ばれます。これは、ローマ教皇グレゴリウス十三世がそれまでの暦の改良を命じ、1582年から使用されているもので、地球が太陽の周りを回る周期を基にした太陽暦です。

日本でこの暦を導入したのは1873年で、明治6年1月1日のことです。それまでは月の満ち欠けを基準とする独自の「陰暦」を用いていましたが、西洋との関わりが増えたこともあり世界の標準的な暦に改められたのです。

この太陽暦と陰暦には誤差があり、陰暦の明治5年12月3日が、太陽暦の明治6年1月1日になるという、当時の人々にとって困惑する事態が生じました。

伝統行事や農作業なども陰暦に則って行われていたため、人々が新しい暦に慣れて生活に定着するには、かなりの時間を要したようです。

新しい規則や取り組みなど、何事も定着するまでには時間がかかるものです。結果が出ないからと言って投げ出しているのは、成果を上げるのは難しいでしょう。

最初は戸惑いがあったても、努力を積み重ねることが大切だと心得たいものです。

職場の教養 1月1日より

始末料理

(食材を大切にしましょう)

料理人のA氏の故郷には、「始末料理」と呼ばれるものがあります。

これは、普通なら捨ててしまう野菜の皮や芯、魚のアラなどを活用した料理のことです。

食材を大切にし、余すことなく使い切る精神がその土地に根付いており、A氏の実家では、正月に振舞われるおせち料理にも始末料理が含まれていました。

そんな環境で育ったA氏が料理人の道に進むと、自然と食材を無駄なく使い切ることを心掛けるようになりました。長い修行時代、廃棄する予定の食材を活用した「まかない料理」の腕前は、当時の料理長にも認められました。

こうした経験で培った、食材を利用する上での工夫やメニューの数々は、料理人としての財産になったといえます。

現在、A氏は高級イタリアンレストランのオーナー兼シェフとして厨房に立っています。

「食材を余すことなく、美味しく食べてもらいたい」という思いが、A氏の腕にさらに磨きをかけたのでしょうか。

食材を使い切る調理と、食べ残しのない食卓を増やしたいものです。

職場の教養 1月2日より

【編集後記】

24年の秋田は、外旭川再開発に関わるサッカー場の建設問題、秋田市民体育館建設問題などで県と秋田市の意見の相違が見られ決定にこぎつける過程で難航した。サッカー場は設立の場所の問題、体育館は物価高騰から建設費が当初予算を100億円も上回る見込みとなり、第1回目の競争入札には1社も参加せず不落となっている。

冬場に入って市街地に熊が出没し、全国的话题となった、スーパーストアに2日間居座り捕獲されたクマ対策をめぐる全国から様々なご意見が寄せられている。過去には見られなかったほど熊が人里に降りてきて食料を漁る。学習効果も加わり今後ますます警戒が必要だ。

新年度はもっと明るいニュースや話題が欲しい。